

なす からすやま

No.153

Public Relations Magazine of Nasukarasuyama City



特集 八溝そばの魅力再発見……………	2
第2回市議会臨時会……………	6
国民健康保険制度が変わりました……………	8
那須烏山市地域情報化計画Ⅲを策定しました…	9
まちづくり団体等活動報告……………	10
烏山城跡見学・記念カード配布……………	12
各種表彰……………	14
シリーズ在宅医療のあれこれ・消費者コラム…	15
まちのわだい……………	16
インフォメーション……………	18
烏山高校の紹介・ジオパーク構想だより…	20

2018

6
June

地域の伝統・親子で体験 (5月20日 梵天奉納)

特集

八溝そばの 魅力再発見!

～八溝山系が生み出す
八溝そばってどんなそば?～

古くから生産されている八溝のそばは、八溝山系の豊かな水資源のもとで育つため、ミネラルやタンパク質が豊富です。また、寒暖差が大きい山間地域で栽培されていることから、香り高いそばとして広く親しまれています。

この八溝のそばを全国に広めようと、八溝そば街道推進協議会などが中心となって様々な活動を展開しています。

今月号では、魅力たっぷりの「八溝そば」や5月に行われた「八溝そば街道そばまつり」の様子を紹介します。

八溝そば街道とは?

那須烏山市、那珂川町、茂木町、市貝町を南北に結んだ街道を「八溝そば街道」と呼び、同街道で提供されているそばは、地元産のそば「八溝そば」として知られています。

もともと八溝そば街道は、平成20年に栃木県で生産量全国1位のいちごやかんぴょうを始めとして、大麦、にら、そばなど全国に誇れる農産物を中心とした「食」と、本県が有する景観や歴史、文化などの地域資源を結び付けた「食の街道」を県内各地に整備したことにより誕生しました。

また同時に、これらを連携させ、「とちぎ食の回廊」として全国に発信していく取り組みが始まったことから、同街道を盛り上げようと、関連する1市3町によって同年に「八溝そば街道推進協議会」が設立されました。

現在では、1市3町の42のそば店などが加盟し、今年で8回目を迎える「八溝そば街道そばまつり」や各地のイベントへの出店、八溝そば街道のPRなど様々な活動とおして「八溝そば」を全国へ発信するなど、同街道は本県的一大グルメゾーンとして成長し続けています。

八溝そばを愛する人たちにお話を伺いました！

地元そば店を挙げて八溝そばを応援します

那須烏山そば組合は、市内6つのそば店で構成する組合です。主に市内の福祉施設に出向き、ボランティアでそばを振舞ったり、各店舗で募金活動を行い、社会福祉協議会へ定期的に寄附をしたりと地域貢献活動も行っています。

もちろんすべての店舗でこの地域で採れた「八溝そば」を使用しています。八溝そばは、香りが良いことで知られていて、これからもっと品質が向上すれば、ブランド品としても期待できるのではないのでしょうか。

また、組合では他の地域との差別化を図るために、鹿沼市の「ニラそば」のような、「八溝そば」を使



那須烏山そば組合
長山 登 組合長

用したこの地域限定メニューを作ってはどうか？」という意見も出ています。しかし、そばの風味や香りを保ちつつ新しいメニューを作るといふことを考えると時間ももう少し必要なのかもしれない。知名度が上がりとつある「八溝そば」。地元のそば店を挙げてこれからもPRしていきたいです。

年間収穫量は130トン、より良い品質を！

そばの生産効率をあげようと、それまで各地域でそばを生産していた7支部が連携し、平成25年10月に那須烏山そば生産者組合を結成しました。

現在は、10支部が組合に加入し、季節ごとに収穫できる「夏そば」と「秋そば」を約90ヘクタール、年間でおよそ130トンの玄そばを収穫しています。加工品として、寒中に玄そばを滝つぼの冷たい水に数日間浸し、引き上げ後に寒風にさらし、ゆっくり熟成させた



寒ざらしそばの仕込みのため日光市の自滝に玄そばを浸す那須烏山そば生産者組合。

「寒ざらしそば」や、前年の秋そばを水温調整機で発芽させた「発芽そば」も作っています。販売は、玄そばが主力で、県内外のそば店や製粉会社に納めています。

最近やっと八溝の玄そばとして皆さんに認知されたのも、地元のそば店や、そばのソムリエといわれるソバリエ、八溝そば応援隊との勉強会や試食会とおして試行錯誤してきたからだと思えます。これからも、生産者としてより良いそばを作り、たくさんの方々の笑顔を見られるように活動していきたいです。

那須烏山そば生産者組合

吉田 幸一 組合長

(写真は、八溝街道そばまつりでPRをする生産者のみなさん。吉田組合長(中央))



八溝そばブランド化へ向けて

市では、八溝そばの流通及びブランド化を促進するために、「八溝そばブランド力向上支援事業費補助金」を設けています。

●八溝そば地産地消推進事業

補助対象者…八溝そばの加工販売を行う製造業者または飲食業者

補助金額…1袋(玄そば22・5キロ、そば粉15キロ)の購入につき

1000円の補助金を交付

●八溝そば広域型推進事業

補助対象者…市内そば生産者

補助金額…市外の事業者などに玄そば及びそば粉を販売する場合、1袋(玄そば22・5キロ、そば粉15キロ)につき1000円を上限に販売額に上乘せして補助

◇

市内には、八溝そばを全国に発信しようと取り組んでいる人がたくさんいます。「夏そば」「秋そば」といった季節ごとに収穫できるそばだけでなく、「寒ざらしそば」や「発芽そば」のほか、様々な加工方法の開発にも日々取り組んでいます。生産者が手間ひまかけて育てた八溝そばは、市内のそば店で1年中食べることができます。ぜひ、みなさんも八溝そばの味を堪能してみてくださいはいかがでしょうか。



桔梗寮の子どもたちを前にそば打ちを披露する那須烏山そば組合。

第8回

八溝そば街道 そばまつり



①八溝そばを味わう来場者 ②③各ブースでそば打ちを披露する出展者 ④新鮮野菜が人気の直売所による販売 ⑤様々な品がそろそろそば打ち道具店 ⑥大勢の人でにぎわうご当地グルメコーナー ⑦盛り上がりを見せたステージイベント ⑧～⑩笑顔であふれる会場の様子。

そばまつりに
県内外から2万5千人

第8回八溝そば街道そばまつりが、5月19日(土)、20日(日)に大浦運動公園で開かれ、約2万5千人が八溝そばを堪能しました。

このそばまつりは、八溝そばを全国に発信し、地域を活性化させようと、八溝そば街道推進協議会そばまつり実行委員会により毎年開かれているものです。リピーターも多く、毎年、全国各地からそば愛好家が集い、今や市の一大イベントとして成長し続けています。

今年は、八溝そば街道のそばから9店舗、日光例幣使そば街道から日光手打ちそばの会と鹿沼そば振興会の2店舗が出店したほか、初めて茨城県常陸大宮市常陸そばの会が出店し、人気を集めました。

ご当地グルメの出店も、牛串や焼き鳥、やきそば、アユの塩焼きなど20店舗がずらりと並び、にぎわいました。また、農産物直売所の出店では、新鮮野菜やそば粉を使った「そばだんご」が販売されたほか、そば打ち道具店による道具の販売なども行われました。

さらに、ステージイベントも行われ、バンド演奏やダンスなど7団体により10ステージが繰り広げられ、まつりを盛り上げました。

来場者のこえ♪

●五月女博明さん家族（谷浅見）

家族で2店舗のそばを食べ比べて、「歯ごたえ」や「のどごし」の違いを楽しむことができました。様々なそば店が出店しているので、1店舗だけでなく全店舗食べる価値があると思いました。



●平山秀勝さん夫婦（大沢）

そばの食べ比べや、ご当地グルメを楽しみに毎年恒例で参加しているイベント。今年は3店舗のそばを食べ、満足しています。来年も再来年もぜひ参加したいです。



●八木澤芳明さん夫婦（那須塩原市）

普段から夫婦でそばの食べ歩きをしています。今日は天気も良く、野外で食べるそばは新鮮で、とてもおいしかったです。また訪れたいイベントの一つです。



全国的に有名な産地へ！

八溝そばで地域活性化

八溝そば街道推進協議会
そばまつり実行委員会

棚橋 誠一郎
実行委員長

8年前から始まった「八溝そば街道そばまつり」も、地域の恒例イベントとして定着しつつあるように感じています。

目指すは、「八溝そばがそばの産地として全国に広まること」です。なかなかすぐには難しいですが、例年そばまつりに友情出演していただいている日光例幣使そば街道とうまくタイアップしてお互いにPRしていきたいと思っています。

今年のそばまつりは、JR東日本のDCキャンペーンのイベントの一つとして開催しました。来場者の皆さんには、八溝そばを食べた感想や魅力を一人ひとりが営業マンとなり、ぜひ発信してほしいと開会式であいさつしました。山あげ祭だけでなく、八溝そばで観光客を獲得することも視野に入れて、そばで地域活性化ができればいいのではないかと考えています。



新市議会議員による初の議会

議長に沼田氏、副議長に田島氏を選出

4月の市議会議員選挙によって誕生した17人の新市議会議員による初の議会「平成30年第2回那須烏山市議会5月臨時会」が、5月8日(火)に開かれ、新議長に沼田邦彦氏、副議長に田島信二氏を選出しました。また、議会常任委員会など議会人事の選任が行われたほか、専決処分2件が承認され、人事案1件が原案どおり可決されました。

詳しくは、議会事務局 ☎0287-88-7114 までお問い合わせください。

各委員会の委員を選任

総務企画、文教福祉、経済建設の各常任委員会、議会広報、議会運営の各委員会の委員がそれぞれ選任されたほか、南那須地区広域行政事務組合議会議員が選出されました。

各委員名は次のとおりです。(◎：委員長。○：副委員長。なお、敬称は省略させていただきます)

【総務企画常任委員会】5人

◎小堀道和、○興野一美、堀江清一、矢板清枝、高田悦男

【文教福祉常任委員会】6人

◎滝口貴史、○青木敏久、福田長弘、相馬正典、田島信二、久保居光一郎

【経済建設常任委員会】6人

◎平塚英教、○村上進一、荒井浩二、洪井由放、沼田邦彦、中山五男

【議会広報委員会】8人

◎矢板清枝、○堀江清一、興野一美、

荒井浩二、福田長弘、村上進一、相馬正典、田島信二

【議会運営委員会】7人

◎相馬正典、○福田長弘、矢板清枝、



第10代副議長
田島信二議員

【南那須地区広域行政事務組合議会議員】6人

小堀道和、久保居光一郎、沼田邦彦、中山五男、高田悦男、平塚英教

監査委員の選任

2人の監査委員のうち、議会議員から選出される委員に、洪井由放氏を選任し、同意されました。

専決処分の承認

■平成29年度予算を補正

一般会計の歳入・歳出をそれぞれ1億900万円増額し、補正後の予算総額を117億8074万3千円としました。主な内容として、歳入は地方消費税交付金や特別交付税の額の決定に伴う増額などです。歳出は、庁舎整備基金費として積立金を増額するため1億円、道路維持管理費として道路の維

議長就任のいきさつ

4月は県内で3市町長選と6市町議選が行われ「ミニ統一地方選」の様相を呈していましたが、すべての選挙で投票率が前回を下回りました。このことは、政治に対する無力感が背景にあると指摘されています。

中立、公平かつ円滑な議会運営に努めて参ります。また、市民の皆様から政治への信頼をいただけるよう、議会改革を強力に推し進める所存です。

本市は、残念ながら日本創成会議の示す896の消滅可能性都市に名を連

産後のママをサポート！

新たに「産後2週間健康診査」と「産後ケア事業」を開始しました！

市では、出産後の母子の心身のケア、育児のサポートなどを行い、安心して子育てができる支援体制の確保を目的に、「産後2週間・1か月健康診査」と「産後ケア事業」を平成30年度から新規事業として開始しました。

それぞれの事業内容を紹介します。詳しくは、こども課母子保健グループ ☎0287-88-7116までお問い合わせください。

■産後2週間・1か月健康診査（産後2週間のみ新規事業）

- ◇対象：市内在住で産後2週間、1か月に該当する産婦
- ◇内容：産後の心身の回復状態の確認。産後うつ^{うつ}の効果的なスクリーニング法「EPDS（エジンバラ質問票）」を用いた内容。
- ◇費用：各健康診査につき上限5,000円の助成があります。
※上限を超えた分は、自己負担となります。

■産後ケア事業

お母さんと赤ちゃんの生活リズムと心身の安定を図るため、産科医療機関において、宿泊や日帰りで休養や助言、沐浴、授乳指導、育児相談などが受けられる事業です。

- ◇対象：市内に住所があり、下記に該当する人
 - ・産後の心身の体調回復に不安があり、休養や助言、支援が必要な人
 - ・初めての育児で不安が大きく、指導や相談が必要な人
 - ・家族などが遠方に住んでいて十分な援助が受けられない人
- ◇内容：実施医療機関と委託契約を結び、対象となる人が入所することで、母子への心身のケアを行います。
 - ・産婦の母体管理、母乳育児の支援、休養のサポート
 - ・赤ちゃんの健康管理、沐浴支援、発育・栄養のサポート
 - ・その他、必要な支援



◇申請・相談

- ・妊娠届出（母子手帳交付）時に、アンケートを記入していただき、面接を行います。また、必要な人に対し、妊娠後期（おおむね28週）頃、再度、妊娠の経過や出産に向けた準備などの確認面接を予定しています。その上で、必要な人に利用申請などの説明を行います。
- ・産後2週間・1か月健診で心配な人や産院から連絡があった人に対して、面接相談を実施し、利用申請などの説明を行います。

第9代議長

沼田邦彦議員

そのような中、本市でも17人の議員が選出され、このたびの臨時議会において議長に就任させていただきました。身に余る光栄に存じますとともに、責任の重さを痛感しております。

議会においては、お互いの人格と名誉を尊重しつつ切磋琢磨^{せつさくさくま}し、その上では是非々々を貫き丁々発止の活発な議論を行うことが極めて重要であると認識しております。そのため、議長として、

ねております。その評価を覆すためにも、市の抱える人口減少、少子高齢化、地域経済の縮小などの課題に対し、議会で活発な議論を行い、知恵を出し合って参ります。また、関係機関、さらには市民の皆様と協働し、「オール那須烏山」で取り組んで参りたいと考えております。

皆様のご理解とご協力をお願いし、ごあいさついたします。

■条例の一部改正

「地方税法等の一部を改正する法律」、「地方税法施行令等の一部を改正する政令」及び「地方税法施行規則の一部を改正する省令」が、平成30年3月31日に公付され、同年4月1日から施行されることに伴い、「市税条例」の一部改正したことについて承認されました。

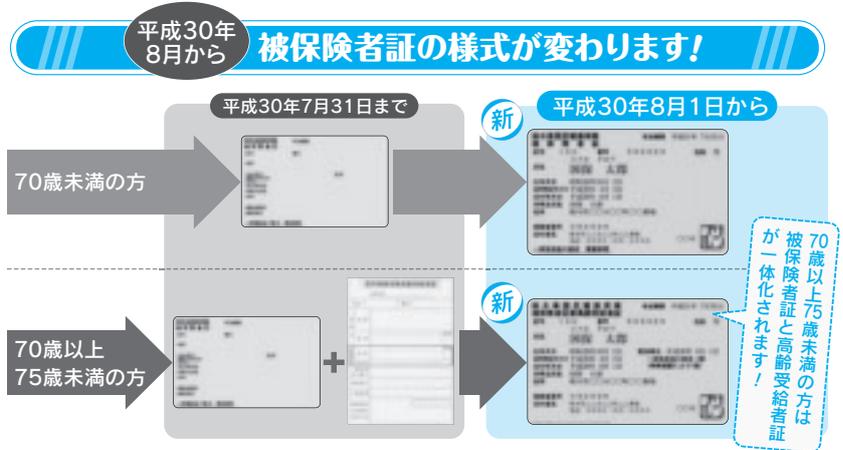
平成30年4月から

国民健康保険制度が変わりました

国民健康保険は、市町それぞれが保険者となって運営していましたが、将来にわたって国保を守っていくために、平成30年4月から栃木県もその運営に加わりました。

■平成30年8月1日から 被保険者証の様式が変わります

制度が変わるに伴い、被保険者証の様式が変わります。また、70歳以上75歳未満の方は被保険者証と高齢受給者証が一体化されます。



■高額療養費の多数回該当が栃木県内で通算されます

平成30年4月からは、栃木県内のほかの市町へ転居した場合でも資格は継続されます（被保険者証は転居後の市町で改めて交付します）。これに伴い、過去12か月以内に高額療養費の支給が4回以上ある場合に自己負担限度額が引き下げられる制度（多数回該当）について、栃木県内のほかの市町への転居で、転居後も同じ世帯であることが認められたときは、転居前の支給も通算して多数回該当の回数に含めることとなります。これにより、該当者の負担が軽減されることとなります。

栃木県内で転居した場合

例	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
これまで	1回目	2回目	3回目	1回目	2回目	3回目	4回目	ここから該当
平成30年4月から	1回目	2回目	3回目	4回目	5回目	6回目	7回目	ここから該当

■届け出や国民健康保険税の納付などはこれまでどおりです

国民健康保険制度のしくみが変わりますが、皆さんの医療の受け方は変わりません。国民健康保険税のお支払いや、各種申請、届け出などもこれまでどおり市の担当窓口で行います。

■国民健康保険税の税率が変わりました

平成30年度から国保の財政運営主体が県になります。市では、県から示された納付金額や標準税率に基づき、国民健康保険税の税率を改正しました。

主な変更点は、4方式（所得割・資産割・均等割・平等割）から3方式（所得割・均等割・平等割）に変更するとともに、全体的な税率の引き下げを行いました。また、軽減対象となる所得基準についても改正を行いました。

▼国保税率の改正

		所得割	資産割	均等割	平等割	賦課限度額
医療保険分	改正後	6.8%	—	23,500円	21,000円	54万円
	改正前	7.5%	25.0%	24,000円	24,000円	(改正なし)
後期高齢者支援金分	改正後	2.4%	—	7,500円	6,000円	19万円
	改正前	2.5%	5.5%	7,000円	6,000円	(改正なし)
介護保険分	改正前	1.9%	—	7,800円	7,000円	16万円
	改正後	2.0%	4.0%	7,800円	7,000円	(改正なし)

■軽減判定所得の改正

- ① 5割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乘すべき金額を27.5万円（現行27万円）に引き上げます。
- ② 2割軽減の対象となる世帯の軽減判定所得の算定において被保険者の数に乘すべき金額を50万円（現行49万円）に引き上げます。

問合

●制度に関すること

市民課国保医療グループ ☎0287-83-1116

●税に関すること

税務課市民税グループ ☎0287-83-1114

那須烏山市地域情報化計画Ⅲを 策定しました

市では、平成25年5月に、「那須烏山市地域情報化計画Ⅱ」を策定し、まちづくりに向けた情報化を計画的に進め、これまで市の魅力PRのため、市ホームページ上に特設サイトの作成、携帯電話不感地域の解消、基幹系ネットワークのクラウド化などに取り組んできました。

平成29年度で終期を迎えたことから、平成30年3月に「那須烏山市地域情報化計画Ⅲ」を策定し、事務処理の迅速化・効率化を進め、利便性に優れた質の高い行政サービスを提供するとともに、強固なセキュリティのもと、透明性の高い行政運営を推進します。

計画の位置づけ

那須烏山市第2次総合計画で「定住を促し安全で暮らしやすいまちづくり」の実現に向け、情報化の分野から展開するための個別計画

計画期間

2018（平成30）年度から2022年度までの5年間

基本理念

「いつでも・どこでも・誰でも必要な情報サービスを手軽に選択、利用できる社会の実現」

計画の特徴

「基本理念」の実現に向け、本計画の計画期間5年間の中で2つの基本目標を掲げ、7つの施策、16の取り組み項目を展開します。

①市民の利便性の向上と活力の創出

魅力ある情報発信のため、市の保有するデータを地域活性化のためにオープンデータ化の推進、SNSの活用、災害時の情報伝達体制について充実させます。

②行政運営の効率化

日々高度化するセキュリティ脅威に対応するため、職員の意識を高め、リスクに対する知識を強化します。また災害時の自治体業務の継続性確保や、マイナンバー制度の利活用、統合型GISの導入に向けた研究を進めます。



《基本目標》	《施策》	《取り組み項目》
1 市民の利便性向上と活力の創出	① 情報受発信力強化	1 市 HP の充実 2 SNS の活用 3 オープンデータ化の推進 4 市民の情報リテラシー向上
	② 防災対応力の高度化	1 防災情報伝達体制の拡充 2 公共施設への公衆無線 LAN 設置
2 行政運営の効率化	① 経営資源の最適化	1 公共施設等管理システム導入
	② 高度情報化に対応した人材育成	1 ICT 人材の育成
	③ 災害に強い電子市役所	1 業務継続計画策定 (ICT-BCP)
	④ 行政情報の保護	1 情報セキュリティ対策 2 情報セキュリティポリシーの遵守
	⑤ 電子自治体の推進	1 統合型 GIS 導入に向けた調査・研究 2 証明書コンビニ交付サービス導入に向けた調査・研究 3 議会システム導入に向けた調査・研究 4 行政手続きのオンライン化の推進 5 最適なクラウド化の推進

農業委員会が新制度でスタート 会長には越雲宏さんを選出

農業委員会等に関する法律改正後初めてとなる農業委員の任命式が、5月22日(火)に行われ、川俣純子市長から新たな農業委員19人に辞令が手渡されました。

また、同日に開催された農業委員会総会において、会長に越雲宏さん、会長職務代理者に石川実さんが選出されたほか、農業委員会が新たに農地利用最適化推進委員25人を委嘱しました。



川俣市長から辞令を受け取る農業委員。

農業委員会委員は次のとおりです。(敬称略)

■農業委員

金子博(曲畑)、栗野隆夫(興野)、荒井喜代子(鴻野山)、鈴木秀之(高瀬)、関閣夫(八ヶ代)、齋藤勉(中山)、栗野育夫(中央3丁目)、増子謙一(森田)、石川実(大桶)、中山忠夫(藤田)、久郷義美(森田)、滝田功(神長)、栗田義之(志鳥)、塩野目富夫(下境)、小川祥一(下川井)、興野礼子(興野)、越雲宏(熊田)、堀江恒夫(大木須)、塩野哲男(大金)

■農地利用最適化推進委員

秋元隆夫(旭1丁目)、岡崎一徳(神長)、水井忠(野上)、羽石福壽(向田)、澤村俊夫(横枕)、齋藤徳一(宮原)、池澤洋作(下境)、小口照一(興野)、大森悦郎(滝田)、齋藤宏之(中山)、高野順子(台浅見)、仁野平正義(大桶)、菊池俊雄(小倉)、古家信夫(大里)、船山瑛子(森田)、金子操(曲畑)、小池定一(福岡)、青木義治(鴻野山)、早乙女正一(小白井)、平塚充(月次)、栗雅彦(南大和久)、富田裕司(三箇)、黒尾雅之(上川井)、相吉澤宏(志鳥)、石崎智弘(志鳥)

那須烏山市消防団 団長に渡邊兼一さんを任命

市消防団について、興野一美前団長の退任に伴い、4月1日付けで渡邊兼一さん(曲畑)が新たに団長に任命されました。現在、消防団員歴27年目の渡邊さんは、平成25年4月から副団長として、各分団の調整や消防団の運営、団長の補佐などに

尽力されてきました。渡邊さんは、「伝統を守りつつ技術の向上や様々な機関と連携して防災活動を展開していきたい。また、団員が一致団結し、厳しさの中にも楽しい消防団活動ができる組織を目指したい」と話していました。



消防団長となった渡邊さん。

市スポーツ少年団

優秀選手・団体を表彰

5月18日(金)、「市スポーツ少年団表彰」が、市役所南那須庁舎で行われ、スポーツ少年団活動に意欲的であり、他の模範となる団員や団体、県予選で入賞または関東・全国大会へ出場を果たすなどした団員8人と1団体に市スポーツ少年団の大和勝夫本部長から表彰状が贈られました。

受賞者及び団体は次のとおりで

す。(順不同、敬称略)

【模範団員】 平野真広(南那須空手道)、小窪剛瑠(南那須柔道)、板橋久遠(那須烏山クラブ)、小幡心(FC Boa Sorte)

【優秀競技者】 五十嵐未来(南那須空手道)、五十嵐大夢(同)、大輪莉央奈(白壁会空手道)、荒井萌維(同)

【育成母集団】 那須烏山クラブ



表彰状を受け取る団員ら。

まちづくりチャレンジプロジェクト・まちづくり団体支援事業 平成29年度活動報告

●まちづくり

チャレンジプロジェクト

市では、新たな「公共の担い手」の育成による協働のまちづくりの実現を目指して「まちづくりチャレンジプロジェクト」を実施しています。平成29年度に採択となった6団体の事業を紹介します。

①那須烏山市木の駅プロジェクト
(代表：大森正)

那須烏山市木の駅プロジェクト

森林を佳良な状態に整備し、林地残材を地域の発展と地球環境のため、有効に活用する。



①木の駅プロジェクト実行委員会 ②キャンナス烏山 ③ふるさと応援隊
④クロスアクション ⑤株式会社スキット ⑥株式会社島崎酒造。

【取組内容】森林の整備、残材の丸太をバイオマス発電の燃料として販売。

②キャンナス烏山(代表：横山孝子)

全国訪問ボランティアアナサの会キャンナス「キャンナス烏山」

看護や介護、子育てなどで、疲れている家族の休息の実現や、公的制度の活用につながる人を発掘して制度を利用できるようにする。

【取組内容】通院同行、見守り・留守番、家事援助などの生活支援。

③那須烏山市ふるさと応援隊(代表：岡崎一徳)

那須烏山市ふるさと応援隊事業
農産物・加工品の販売による小規模農家所得の向上及び観光パンフレットの配布などにより、

観光交流人口の増加を図る。

【取組内容】東京・埼玉などで市内農産物や加工品の販売。

④クロスアクション(代表：高橋誠一)

観光交流創造事業

地域間交流や市内団体による企画開催などをとおして、

地域住民の郷土愛と観光客の地域への愛着を育むとともに

社会参画意識を醸成し、市民主体の持続可能なまちづくりの推進に寄与する。

【取組内容】体験型観光ツアー、地域内交流施設「ぶらっと」、マルシェの開催。

⑤株式会社スキット那須烏山支店(代表：武井令子)

アクティブシニアの活躍で街を元気に！

地域内のアクティブシニアが積極的に社会参加しやすい仕組みを作ることで、日常生活のモチベーションアップ、コミュニケーション機会の増加、地域全体の健康増進に貢献する。

【取組内容】情報発信サイト構築、さずな作りサロンの開催。

⑥株式会社島崎酒造(代表：島崎健一)

どうくつ酒蔵事業活性化

地域に残された貴重な遺産を活用した日本のスケールを誇る日本酒熟成庫の特異空間を広く周知し、国内外からの訪問者増を目的とした事業展開を図る。

【取組内容】PR用大型タペストリーの作成、海外向けポータルサイト掲載。

●まちづくり団体支援事業

市では、平成18年度から29年度までボランティア団体やNPO法人などによる地域資源を活用した振興策や地域課題の解決に



上：野球連盟。
下：鳥山語りの会。

向けた市民主導によるまちづくりに対し、「まちづくり団体支援事業」として活動を支援してきました。

平成29年度に採択となった2団体の取り組みを紹介します。

①那須烏山市野球連盟(代表：大橋光一)

那須烏山市あげカップ軟式野球大会事業

近隣市町との交流・連携を図り、野球の普及と競技力の向上、選手の育成を実施。

【取組内容】野球大会開催(学童・一般)、小・中学生を対象に野球教室の開催、登録チームや審判員を対象としたルール勉強会。

②鳥山語りの会(代表：大喜正昭)

ふるらの民話を生かしてまちづくり事業

那須烏山市の民話を世代間交流・地域間交流として取り入れ、各地への発信にも力を入れることで観光面での集客を図った。

【取組内容】民話の里巡りツアー実施、発表会開催、ふるさと民芸館にて毎月民話語り、各種施設・いきいきサロン・学校などへのボランティア活動、各種イベントへの協力。



烏山城の歴史と 魅力を学ぶ はじめての方の烏山城跡見学会

市では、築城600年を迎えた烏山城の魅力や文化財としての貴重さを広く伝えようと、5月19日(土)、烏山城跡を初めて訪れる人を対象に、烏山城跡見学会を開きました。

当日は、市内外から16人が参加。参加者は、市文化振興課学芸員の解説を聞きながら、烏山城跡を約2時間かけて見学し、本丸や古本丸をはじめとした烏山城の歴史や特徴を学びました。

解説の中では、烏山城が使われていた時代の痕跡として石列が現

在も残っている「常盤曲輪・常盤門」「石垣」の種類や造られた時代、「本丸平坦面礎石」などこれまでの調査で確認されたことが紹介され、参加者は城絵図を見ながら資料を参考に真剣に耳を傾けていました。

三保田イツさん(金井1丁目)は、「烏山城跡に残る石垣や礎石を見学し、当時の城の様子をイメージすることができた。今日聞いたことを復習し、今度は自分が家族を連れて案内したい」と話していました。

三保田イツさん(金井1丁目)は、「烏山城跡に残る石垣や礎石を見学し、当時の城の様子をイメージすることができた。今日聞いたことを復習し、今度は自分が家族を連れて案内したい」と話していました。



解説に耳を傾ける参加者。

烏山城築城600年記念カード

全9種類を
イベントで配布

市では、烏山城築城600年を記念したカードを9種類作製し、10月にかけて市内で開催されるイベントで無料配布します。

カードは免許証サイズで、烏山城の石垣や土塁の遺構など城に係る写真やイラスト、説明文などを掲載しています。

イベントごとに配布する種類が変わり、全9種類を集めた人にはレアカードを贈ることも検討しています。現在までに、4月28日(土)

の山あげ会館再オープン記念イベント「なすからフェスタ」や、5月19日(土)・20日(日)の「八溝そば街道そばまつり」で3種類が配布され、カード目当てにイベント開始から長蛇の列ができるほどの人気ぶりでした。

今後は、7月27日(金)～29日(日)の「山あげ祭」で3種類(各日1種類)、10月14日(日)の築城600年記念イベントでは3種類を配布する予定です。

なすからフェスタで配布した記念カード。



山あげ祭の準備着々と。

山の絵描き 横山さん(泉町)が初挑戦



準備を進める泉町若衆。

今年の山あげ祭の当番町「泉町」では、4月中旬から、竹で編んだ網代に和紙を貼った「はりか山」に絵を描く作業が行われています。

絵を担当することとなったのは、同町(中央3丁目)の横山亘さん。「看板店を営んでいた父が約40年間、はりか山の絵を描いていたこともあって、いつ

はりか山に絵を描く横山さん。



か自分も描いてみたいと憧れていた」と話し、今回初めて絵描きに挑戦します。平日の作業は2～3時間、休日になると一日没頭し、気付くと外が明るくなるころまで作業をすることもあ

るそうです。横山さんは、「大きな山に絵を描くのは難しいが、父が描いていた山のように迫力ある絵に仕上げたい」と意気込みを語りました。

また、泉町若衆らによる準備もいよいよ終盤に差し掛かるうとしています。山あげ祭は、7月27日(金)～29日(日)。公演日程などは市ホームページや特設サイト、次回の広報紙などでお知らせします。

水難事故に備えて

消防と警察が 合同水難救助訓練

5月17日(木)、野上の下野大橋付近の那珂川で、南那須地区広域行政事務組合消防本部と那須烏山、那珂川両消防署による合同の水難



要救助者を乗せた救助艇。

救助訓練が行われ、菱沼則康消防本部消防長や吉村孝那須烏山警察署長、村山陽美那珂川警察署長をはじめ、消防隊員や両警察署員、県消防防災航空隊から55人が参加しました。

この訓練は、梅雨時の河川の増水や台風などの水害による水難事故が発生した場合に、消防と警察が連携して迅速に救助活動ができるよう毎年この時期に行われているものです。

当日は、梅雨前線の影響で栃木県北部を中心とした集中豪雨により河川水位が急速に上昇し、中州に取り残された男性4人を救出することを想定。消防などの緊急要

請で出動した消防・警察救助艇が要救助者を無事救出する訓練が行われました。また、スローバックによる救出訓練も行われ、正しい知識やロープの使い方を確認しました。菱沼消防長は、「この訓練を活かして、実際に水難事故が発生した場合に迅速に救助活動ができるようにしたい。市民のみなさんには、自然災害は身近なものであると感じ、自分の命は自分で守れるよう意識してもらいたい」と話していました。

さあ、那須烏山市へ行こう！ 森だくさん体験ツアー



手びねりを体験する参加者。

市の自然豊かな里山を利用した体験をしておおうと、5月12日(土)、実践型地域雇用創造事業に取り組む那須烏山市地域雇用創造協議会による「森だくさん体験ツアー」が開かれ、市内外から9人が参加しました。

当日は、自分たちで生地を伸ばし、市内で採れた玉ねぎなどの野菜やチーズをトッピングしたピザを石窯で焼く体験、月次で採れたお米を使ったおにぎり作り、原木

地域おこし協力隊による

タケノコ掘りイベントで春を満喫

5月12日(土)、福岡の篠崎昌久さんの竹林で、「タケノコ掘り」が行われ、地域住民6人が参加しました。

これは、市内の地域資源を活用し、自然に触れてもらおうと、那須烏山市地域おこし協力隊の榎本真紀子さんが企画したイベント。当日は、那珂川町の協力隊やNPO法人那珂川流域悠遊会のメンバーが応援に駆け付け、参加者と一緒にタケノコ掘りを楽しみました。

た。

最初は、クワの使い方に慣れず苦戦していた参加者でしたが、本数を重ねるごとにコツをつかみ、終盤には持ち帰り用のネットが掘り起こしたタケノコでいっぱいになるほど大収穫となりました。

昼食には、那珂川町の協力隊が手作りしたタケノコご飯や煮物、天ぷらなどが入った「タケノコ弁当」も振舞われ、タケノコづくしの一日となりました。



竹林でのタケノコ掘り。

にドリルで穴を開け、シイタケの種駒を打ち込む作業や薪割りを体験したほか、ろくろを使わずに粘土感覚で自由に作品を作る手びねり陶芸体験をし、参加者はこれらの体験をとおして、市の豊かな自然に触れました。

宇都宮市から参加した森島史明さんは、「日常ではできないことを体験することができた。とても新鮮でリラックスすることができた」と話していました。

ジオパーク構想の普及を評価 南那須中が大臣表彰



受賞報告に市役所を訪れた左から星教諭、藤本さん、熊田さん、山久保校長。

南那須中では、本年度の科学技術部門の文部科学大臣表彰「創意工夫育成功労学校賞」を初めて受賞しました。児童・生徒の創意工夫の育成に努めた小・中学校が対象で、同校は市が推進する「那須烏山ジオパーク構想」の普及活動への積極的な参加などが評価されました。

南那須中に統合前の旧下江川中の平成19年度から、学区内に自生する絶滅危惧種の水草「シモツケコウホネ」の保全・調査を開始し、21年度からは、「下江川ジオパーク構想」として調査を行ってきました。こういった活動が、「那須烏山ジオパーク構想」の出発点になったといえます。現在は、特設科学部の生徒を中心に同構想の普及活動などに協力。昨年度は、日

本ジオパークネットワーク正会員加盟に向けた公開プレゼンテーションや、日本ジオパークネットワーク全国大会にも参加し、日頃の取り組み成果を発表しています。また、授業の一環として学区内で採取した化石や地層を観察したり、シモツケコウホネを研究したりと全校生で地域の地質などを学んでいることも評価されました。

山久保拓男校長は、「今後も地域に根差した活動を続けるとともに、地域の良さを子どもたちに伝えていきたい」と話していました。また、特設科学部3年の熊田晶太さん(熊田)と藤本真輝さん(藤田)は、「先輩たちの代から研究してきたことが評価されて嬉しい。これからは自分たちが受け継いでいきたい」と受賞の喜びを語りました。

シリーズ 市の文化財 第85回

市指定有形文化財 (彫刻)

木造仁王像 (滝)



寛文元年(1661)、烏山城主であった堀美作守親昌が、菩提寺とした東江寺を滝田村に建立した際に、仁王門と仁王像を建造しました。寛文12年(1672)に堀家が信州飯田へ転封の際、これらを太平寺に寄進しました。

この仁王像は、太平寺の石段を上がり、本堂までの間の仁王門(市指定有形文化財)に納められており、像高は3メートルあり、寄木造りで全身に彩色が施され、瞳の虹彩に玉眼がはめ込まれています。非常に奥行きがあり、量感にあふれ、威嚇の表情で私たちを迎えます。

少年指導員の菊地さん(上川井) 全国防犯協会連合会「防犯栄誉銅章」を受章

那須烏山市少年指導員の副会長として活動している上川井の菊地榮一さんが、長年にわたり

地域防犯活動の先導的な役割を担い、安全安心で明るく住みよいまちづくりの推進に大きく貢献した功績が認められ、平成29年度公益財団法人全国防犯協会連合会「防犯栄誉銅章」を受章しました。

菊地さんは、昭和58年から少年指導員として活躍。現在に至るまで35年間、主に、スーパーマーケットや

JR烏山線の電車に乗車しての啓発チラシ配布などを月1回行っているほか、山

あげ祭など大きなイベント

では会場を巡回し、子どもたちへ事故防止に向けた呼びかけなども行っています。

菊地さんは、「世の中には、目に見えない危険がたくさんある。将来を担う子どもたちのためにも、事件事故に巻き込まれないように様々な場面で啓発していきたい。

また、地域の大人たちが子どもたちを見守ることも必要」と話していました。

また、菊地さんは、長年にわたる青少年の健全な育成に尽力したとして昨年度に栃木県知事表彰も受賞しています。



「防犯栄誉銅章」を受章した菊地さん。

在宅医療のあれこれ Part 2

高齢者にとって、出来る限り住み慣れた地域で最期まで暮らしたいと望む住民が少なくないということはみなさんご存知のことと思います。価値観の変化に伴い生活を犠牲にしても病気を治すという「治す医療」の考え方から、病気を持って暮らしを変えず治療を続ける「治し支える医療」へと在宅医療の必要性が高まっています。在宅医療が入院医療ではなく、お互いに補完し合い、終末期でも「時々入院ほぼ在宅」の考え方が必要です。

患者の状態（重症度）、時期（回復期、終末期）、家族



環境により医療・介護サービスの要望や必要度は異なります。大切なことは切れ目の無い医療・介護サービスの提供です。

南那須医師会では、数年前から在宅医療を充実させるため、各種講演会・研修会の開催、医療・介護関係者、行政など多職種の方々と定期的に会議を持ち、顔の見える関係を作り、在宅医療・介護サービスの提供のあり方などを検討しているところです。

その一つに、病院から在宅へ、在宅から病院へ、切れ目の無い医療を提供し、スムーズに治療・療養生活ができるよう、かかりつけ医と病院との「病診連携」の強化、入退院支援システムの構築があります。

在宅医療は、出来るだけ家族と共に住み慣れたところで暮らし、必要な場合は入院医療も受けられます。望めば、自宅での看取りも可能です。

かかりつけ医は、あなたやご家族の病気・健康管理などを気軽に相談できる「身近なお医者さん」です。当地域のかかりつけ医の大多数は訪問診療や往診を行っています。ぜひ、かかりつけ医を持って気軽に相談してください。

南那須医師会

消費者コラム⑮

消費者ほっと♥らいふナビ

先月の相談事例でも紹介しましたが、平成29年6月頃から「総合消費料金に関する訴訟最終告知のお知らせ」などと書かれた下記のような「架空請求」のはがきが、多くの市民のもとに郵送されています。

消費料金に関する 訴訟最終告知のお知らせ

この度、ご通知致したのは、貴方の利用されていた契約会社、もしくは運営会社側から契約不履行による民事訴訟として、現状が提出されました事を改めて告知致します。管理番号(わ) 284 訴訟取り下げ最終期日を経て訴訟を開始させていただきます。

このままご連絡なき場合は、原告側の主張が全額認められ、執行官立ち会いの下、給与等の差し押さえ、不動産物の差し押さえを強制的に執行させていただきますので裁判所執行官による執行証書の提出を拒否していただくようお願い致します。

取り下げなどのご相談につきましては、当月に限り受け付けておりますので、下記までお問合せ下さい。事務局での連絡となりますのでプライバシー保護の為、ご本人様からご連絡いただきますようお願い申し上げます。
訴訟取り下げ最終期日 平成30年〇月〇日

法務省管轄支局 国民訴訟通告センター
東京都千代田区霞が関3丁目4番9号
取り下げ等のお問合せ窓口 03-****-****
受付時間 9:00～20:00(日、祝日除く)

訴訟の取り下げ最終期日が明日!?
身に覚えはないけど…電話した方がいいのかな?



【具体的な手口】

「法務省管轄支局」と称する事業者は、はがきを見て連絡してきた消費者に対し、弁護士に連絡するよう指示します。紹介された弁護士へ電話すると「裁判所に供託金として10万円を支払ってください」などとコンビニでギフト券を購入させ、その番号を連絡するよう指示します。その後も裁判の相手や弁護士から「自宅へ行くぞ。家族に迷惑がかかるぞ」などと不安をあおるような電話があり、金銭の支払いを要求されます。

【消費者の皆さんへのアドバイス】

- ① 「法務省管轄支局」と称する事業者は実在しません!
- ② 正式な裁判手続きの通知は、はがきでは来ません!
- ③ 同様のはがきが届いても、記載された番号には絶対に連絡してはいけません!
- ④ 不安に感じたら、すぐ消費生活センターへ相談を!

那須烏山市消費生活センター(烏山庁舎1階、商工観光課内)

【専用電話番号】0287-83-1014

【受付時間】平日9:00～12:00、13:00～16:30

※土・日曜日及び祝日は「消費者ホットライン☎188(局番なし)」へご相談ください。

五穀豊穰を願って月次・加茂神社 梵天奉納



梵天を振り上げる参加者。

5月20日(月)、月次の加茂神社の例大祭「梵天奉納」が行われました。

鳴井山の名で親しまれ、五穀豊穰と雷神信仰が有名な同神社には、「本社前にある岩穴からは、干ばつのおきもかれない湧き水がある。この霊水を借りて雨乞いすると必ず雨が降る」という言い伝えがあり、この梵天奉納も雨乞い行事の一つです。

奉納には、育成会や地域の商業団体、農業団体ら14団体が

が参加。法被姿の参加者たちは、孟宗竹を根っこごと掘り起こした約10メートルの梵天を担いで、矢崎部品(株)のグラウンドから約1・5キロを練り歩きました。そして、神社の鳥居をくぐったところで梵天を何度も高く振り上げた後、300メートルあまりの参道を上がり奉納しました。

境内では、「巫女舞」や「がらまき」、「お囃子」が行われ、たくさんの方々が地域住民でにぎわいました。

古希野球大会 12チームが熱戦を繰り広げる

5月2日(水)から4日(金・祝)にかけて、生涯野球烏山スネークス(滝田正代表)主催の「第7回東日本選抜古希軟式野球大会」が、緑地運動公園で開催され、県内外から参加した12チーム約250人の選手によって白熱した戦いが繰り広げられました。

始球式では、川俣純子市長がマウンドに立ち投球を披露。そ

の後開始された試合では、年齢を感じさせないほどのハッスルプレーもあり、生涯野球への意気込みを感じられる試合が数多く見られました。決勝戦は、あいにくの天候により抽選で行われ、茨城県の「シニア阿見」が優勝しました。

生涯野球烏山スネークスはシニア阿見と対戦し1点差で惜しくも敗れました。



開会式での川俣純子市長によるあいさつ。

まちなか鯉のぼり事業 大空に300匹の鯉のぼり泳ぐ

県内5つの大学と烏山高校などで構成する那須烏山市まちなくり研究会(福島二朗委員長)による「まちなか鯉のぼり事業」が、4月28日(土)、清水川せせらぎ公園と龍門の滝で行われました。

当日は、親子連れや烏山高校の生徒32人が参加し、2か所に約300匹の鯉のぼりを設置しました。終了後には、地域おこし協力隊の市田久美子さんが発案したカレイコロッケパーティーに舌鼓を打ちました。



まちなかのわだい

◇「広報なすからすやま」では、みなさんからの楽しい話題を募集しています。地域の行事や変わった出来事などをお知らせください。可能な限り取材に伺います。

総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112



設置した鯉のぼりをバックに記念撮影。

GW中のイベントを紹介します！

OOOGANE木漏れ日マーケットと JR烏山線沿線ウォーク

4月29日(日・祝)、烏山駅前広場と大金駅周辺を会場に、「OOOGANE木漏れ日マーケット」(同実行委員会主催)が開かれ、約1万人が訪れました。

これは、子どもと地域のコミュニティを築くことや、烏山駅前及び大金駅前等の活性化を目的に、地域住民や企業、まちづくり団体などが協力して行う手作りのイベントで、4回目を迎えました。烏山駅前では、市民らによるステージイベントをはじめ「かき氷」や「からあげ」などの模擬店、ワークショップ、手作り品などの販売が行われ



大勢の人でにぎわう会場。

会場は盛り上がりを見せました。大金駅前では、手打ちそばや地元野菜が販売され、たくさんの方々がにぎわいました。

また、同日、JR烏山線沿線ウォークが那須烏山市、高根沢町及び同沿線ウォーク実行委員会(清水敏夫実行委員長)によって開催され、市内外から122人が参加しました。宝積寺駅をスタートした一行は、各駅で七福神スタンプを押印しながら終点の烏山駅を目指しました。大金駅と烏山駅では、イベントを楽しむ参加者も見られました。



ステージでの団体紹介。



毎年恒例の自転車一本橋渡り。

横枕の水田で どろんどろんピック開催！

今年で6回目となる「横枕どろんどろんピック」(横枕青年団主催)が、4月30日(月・休)に、横枕公民館付近の水田で開かれ、県内外から親子連れ



大金駅前ですたンプをもらう参加者。



新種目の田んぼで湧水リレー。

など約600人が訪れました。競技は、「田んぼで宝さがし」、「だるまさんが転んだ」や第1回から恒例となった「自転車一本橋渡り」のほか、今回初めて「田んぼで湧水リレー」が団体競技として追加され、参加者は上位を目指し、子どもから大人まで泥にまみれながら熱い戦いを繰り広げました。

小さな駅の 小さな写真展

県内で展開中の大型観光企画「本物の出会い、栃木デザインেশョンキャンペーン」を盛り上げるため、「第3回小さな駅の小さな写真展」が、4月21日(土)から5月6日(日)に開かれました。

写真は、元JR職員で大田原市在住の岩本寛さんが撮影したもので、JR烏山線大金駅構内待合室では、「花と列車」、「栃木路を走る」をテーマに28点、烏山駅構内待合室では、「アキユム」と思いつきのキハ40形」をテーマに19点が展示され、電車の利用者や観光客などを楽しませました。



駅の待合室に展示された写真。

おめでとう★

赤ちゃん名 (保護者)住 所
 大 淵 航平(隆浩・久美子)金井1丁目
 関 楓(真輔・未美)大木須
 荒 井 佑(仁・妙)鴻野山
 岡 崎 このみ(直人・つぐみ)旭1丁目
 鈴 木 さくら(克夫・奈保)鴻野山
 糸 川 実優斗(勇司・幸子)鴻野山
 篠 崎 結斗(美孝・みゆき)福 岡
 大 橋 玲花(拓人・美花)野 上
 船 山 明日菜(雄太・彩)熊 田
 高 垣 杏 音(恭志・実季)宇 井

※ここでは、保護者等の了解が得られた情報のみを掲載しています。

スポーツの結果★

●高田宮賜杯第38回全日本学童軟式野球大会栃木県予選会南那須地区予選(4月14日(土)・15日(日)、烏山野球場 緑地運動公園)
 ▼準優勝・那須烏山クラブ

●第13回市民野球大会(4月8日(日)、22日(日)、緑地運動公園、大桶運動公園)
 ▼優勝・烏山信用金庫 ▼準優勝・烏山ヤンガース ▼第3位・KSベアーズ、烏山REDSOX

●第10回那須烏山市弓道大会(4月29日(日祝)、烏山弓道場)
 「生徒の部」▼優勝・本間真宙(烏山高校)
 ▼準優勝・羽石妃那(烏山高校) ▼第3位・秋山優佳(烏山高校) 「一般女子の部」▼優勝・益子愛理 ▼準優勝・小川路恵 ▼第3位・川島こずえ 「一般男

子の部」▼準優勝・金子恒彦 ▼第3位・相田日出男

●第37回栃木県空手道少年錬成大会

(5月4日(金祝)、大田原市県北体育館)
 「小学2年生男子組手」▼第3位・荒井斗真(白雲会空手道) 「小学4年生男子組手」▼第3位・五十嵐大夢(南那須空手道)
 「小学2年生女子組手」▼優勝・大輪咲奈(白雲会空手道) 「小学3年生女子組手」▼第3位・荒井萌維(白雲会空手道) 「小学5年生女子組手」▼優勝・大輪莉央(白雲会空手道)

「ありがとう」が伝わります★

■ふるさと応援寄附金

今田和孝様(東京都あきる野市)、富山良孝様(東京都江東区)、大久保ミツイ様(東京都目黒区)から各1万円、薄井時夫様(ハッ

代から10万円、匿名希望者様31人から計36万円が本市に寄附されました。

■社会福祉事業寄附金

ヴィオニア日信ブレイキシステム ジャパン(株)栃木開発センター様から6万8800円が寄附されました。

受賞★

●人権擁護委員の表彰

▼全国人権擁護委員連合会長表彰・平塚禮子 ▼宇都宮地方事務局長感謝状・栗正俊

これからママになるあなたへ 食べ物について知っておいてほしいこと

●妊娠中に注意が必要な食中毒菌がいます。
 妊娠中は、一般の人よりもリステリア菌に感染しやすくなり、赤ちゃんに影響がでることがあります。リステリア菌は、食品を介して感染する食中毒菌で、塩分にも強く、冷蔵庫でも増殖します。

●妊娠中に避けた方がよい食べ物があります。(リステリア食中毒の主な原因食品例)

- 冷蔵庫を過信せず、食べる前に十分加熱しましょう。
- ナチュラルチーズ(加熱殺菌していないもの)、肉や魚のパテ、生ハム、スモークサーモン
- リステリア菌は、冷蔵庫内でもゆっくりと増殖しますが、他の食中毒菌と同様に加熱することで予防できます。冷蔵庫の食品は、期限内に使い切る心がけましょう。

編集後記



○みなさんは、そばまつり行きましたか?市内ではおなじみのイベントとなりましたが、一般的にそばまつりって秋の開催がほとんどなんですって!言われてみれば、そうかもしれない...

○なので、そばの食べ歩きをしている人にとっては、珍しいということもあって嬉しいイベントなんだとか。今年も2日間で2万5千人。大勢の家族連れなどでにぎわっていました。

○そこで「エピソードが...!来場者のみなさんがそばを食べている様子を撮影していると、「ちょっとお姉さんこっちー!」という声がかして、振り返ると2組のご夫婦がいました。「広報紙に載るのが夢だった」と嬉しい一言をいただき、そのままコメントをいただき写真をパシャリ。素敵な笑顔をいただき、なんだかほのほしました◎

○今月号では、八溝そばについて2〜5ページで紹介をしています。市内6店舗で組織するそば組合や、そばの生産者にもお話を伺っていますので、ぜひ見ていただき、おいしい八溝そばを作る取り組みなどを分かってもらえたら...と思います。



Information

新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204

烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

★図書館HPから新着図書が検索できます。★
http://www.lib-nasukarasuyama.jp/

★一般図書★

『色と形で見わけ散歩を楽しむ花図鑑』 大地 佳子
『「官僚とマスコミ」は嘘ばかり』 高橋 洋一
『いい人病 ゆがんだ人間関係をやめる処方箋』 玉川 真理
『あの人とあの本の話』 瀧井 朝世
『明日への一步』 津村 節子
『放課後ひとり同盟』 小嶋 陽太郎
『あの夏、二人のルカ』 誉田 哲也
『黙過』 下村 敦史

★児童図書★

『コンピューターってどんなしくみ?』 村井 純ほか
『失敗図鑑 すごい人ほどダメだった!』 大野 正人
『有害物質のサバイバル』 韓 賢東

『おばけの たからもの』 むらい かよ
『消えた時間割』 西村 友里
『とびますよ』 内田 麟太郎
『まんまるだあれ』 今森 光彦
『ホットケーキのおうさま』 二宮 由紀子
『しゅりけんとうちゃん』 寿 金之輔

★DVD★

『帝一の國』 永井 聡監督
『ピーチガール』 神徳 幸治監督
『こどもつかい』 清水 貴史監督
『ナミヤ雑貨店の奇蹟』 廣木 隆一監督
『ラ・ラ・ランド』 ディミアン・チャゼル監督
『スパイダーマン ホームカミング』 ジョン・ワッツ監督
『この世界の片隅に』 片淵 須直監督
『カーズ クロスロード』 ブライアン・フィー監督

2018.5.1現在
()対前月比

人口 25,912(-17)

男 12,832 女 13,080

出生 11 死亡 20

転入 74 転出 82

世帯数 9,406

市の人口

※平成27年国勢調査を基に集計した統計人口です。

文芸コーナー★

俳句

水野 信一 選

山路風そつと撫で行く若草野 小針 久子(月 次)
ねこやなぎ声のふくらむ通学路 川俣登志子(旭)

若葉して祈りの中の雲殿寺 古内 晴代(金 井)
初夏の練習試合孫凜凜し 須田 孝子(城 東)

川柳

篠崎 酔月 選

入院で土の匂いを恋しがり 羽石 妙子(向 田)
人住まぬ家氏神も草の中 南 美保子(福 岡)

深緑の節には旨い柏餅 荻野目香津(中 央)

新任の挨拶児等に評価され 森 豊(中 山)

短歌

福澤 悦子 選

ひとときの雨もあがるか稔り田に朱静もりて 須藤 ヤス(志 鳥)
那須の夕焼け 金色に暮れ泥む空眺めつつ書を休めて夕餉楽しむ 吉澤 紅月(南)
一年生六十人が乗ってきてて烏山線にわかになし 柳 つしま(中 央)
ピーナツ時きどちらが勝つか烏らににらみつけられ防鳥ネット張る 平野フミ子(向 田)

作品集募集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ
(〒321-0692 那須烏山市中央1丁目
1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

文芸コーナーに投句してみませんか?

「広報なすからすやま」では、文芸コーナーで、「俳句」「川柳」「短歌」を募集しています。

本市に住所がある人であれば、年齢や性別を問わずどなたでも応募していただけます。ただし、未発表作品に限ります。

応募方法は、上記の文芸コーナー「作品集」をご覧ください。

■総合政策課広報広聴グループ ☎0287-83-1112



安心な暮らしをサポート!

三井住友海上代理店

(有)しおや保険事務所

◇損害保険:自動車・自賠責・火災・地震・使用者賠償

◇生命保険:新総合収入保障・新医療・ガン・年金

◆お問合せ 〒321-0526 那須烏山市田野倉383

TEL: 0287-88-9870

FAX: 0287-88-0234

シリーズ 烏山高校ってこんなところ！～地域連携活動編②～

なすから英語塾

平成30年度前期コース「なすから英語塾烏山高校クラス」が烏山高の生徒を対象に烏山高校を会場として開講しました。

この事業は、高校生が受講しやすい環境を整備し、より多くの方が英語をとおして市の魅力を学ぶことで外国人観光客に向けて市のPRをしてもらうことが目的です。

英語塾では、外国人講師の指導のもと、生徒が英語でディベート（議論・討論）できるようになることを目標に様々な活動を行っていきます。



5月16日(水)に行われた第1回の活動では、オリエンテーションとして、ペアになって互いに英語で自己紹介をし、紹介された生徒を他の生徒に英語で紹介をするという活動を行いました。

なすから英語塾は、9月まで全14回開催されます。この活動をとおして、英語で表現することの楽しさを実感し、積極的にコミュニケーションを取ることができるようになることを期待します。

生徒の声 1年 塩野目暁都さん（下境）

自分の考えを相手に英語で伝えることは難しかったですが、普段話すことのない他学年の人ともコミュニケーションを取ることができたことはとても楽しかったです。

大学入試だけでなく、社会においても英語で会話する力が求められてくると考えられるため、なすから英語塾に来てくださるネイティブスピーカーの方々からたくさんのお話を学びたいです。そして、市内の紹介ができるように上達させたいです。

生徒の声 2年 桐原倫太郎さん（那珂川町）

烏山高校の中で様々な外国人講師と英会話の練習ができると聞いて「なすから英語塾」に参加しました。

第1回は生徒同士が英語でコミュニケーションを取ることを中心に活動をしました。今後は基本的にはテキストを使わず会話での活動を行っていきと聞きました。「外国の方と日常会話ができるようなコミュニケーション能力・英語力を培う」ということを目標に、これからの14回の活動に楽しみながら参加していきたいです。



烏山城に関わるこの地に伝わる「民話」についてご紹介します。
 沢村五郎資重は、那須氏11代当主・那須資氏の子として誕生し沢村氏を継承しましたが、兄で12代当主である資之と不仲になり沢村城を退去しました。
 そこで、資重が那珂川の東の山（興野の平群山）に築城しようとした際、1羽のカラスが金の幣束をくわえて飛んできて、西の一番高い山の頂にその幣束を落としたそうです。「権現様

のお告げではないか」と考えた資重はその山にお城を築きました。これが烏山城だと言われています。烏山城は町の中心より北西に位置する八高山（標高206m）に築かれました。その時以来、城山の周りを烏山と呼ぶようになったそうです。（「野州からす山の民話 第一集」烏山観光協会より）
 来月号では、烏山城と関わりのある文化財についてご紹介します。

那須烏山ジオパーク構想だより 14

～築城600年記念烏山城特集～